

## 平成29年度第2回東成区区政会議「子ども・教育部会」

1 開催日時 平成29年12月15日（金） 19時30分から20時40分まで

2 開催場所 東成区民センター大ホール

3 出席者の氏名

### 【委員】

田中 良和（議長）、板垣 理恵子（副議長）、池田 カヅ子、末光 京子、茶谷 儀夫、永門 武志、鍋田 仁史、福永 美和子、藤井 宣昭、山口 晴康

### 【東成区役所】

足立 幸彦（総務課長）、植田 浩史（市民協働課長代理）、井上 徳久（まちづくり・教育支援担当課長代理）、大野 孝文（児童・保健担当課長代理）

4 委員に意見を求めた事項

平成29年度東成区運営方針（素案）について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○事務局 それでは、ただいまより子ども・教育部会の議長、副議長を新たにお選びいただきます。どなたかご推薦などありますでしょうか。

○永門委員 子ども部会、13人中10人来られていますので、子どもに一番接してる、僕ら青少年関係なんですけれど、スポーツ推進委員の田中良和さん。

○事務局 ただいま、永門委員から議長に田中委員という推薦がございました。皆様いかがでしょうか。

(拍手)

○事務局　では、ありがとうございます。続いて副議長の選出です。

○田中議長　それでは、私の方から言わせてもらってよろしいですかね。板垣委員にお願いしたいと思うんですが、青少年指導員も長いことしておりまして、地域には密着しておりますので、いかがでしょうか。

(拍手)

○事務局　皆様の拍手をもって承認いただけたと思っております。ありがとうございます。

では田中議長、板垣副議長のお二人には、今期2年間どうぞよろしくお願いいたします。

では、以降の進行につきましては、各部会の議長、副議長にお願いしたいと思っておりますので、お二人にはどうぞこちらの進行役の座席に移動してください。

○田中議長　それでは、改めまして皆様こんばんは。

ただいまご推薦いただきました田中でございます。板垣副議長とともに頑張り努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞ皆様方、ご協力の方よろしくお願い申し上げます。板垣副議長からも一言よろしく申し上げます。

○板垣副議長　皆さんこんばんは。私、区政会議初めて参加させていただいています。初めてで今日ちょっとしょっぱなから笑われてしまいましたが、田中さんとはもう20年以上のおつき合いで、あと20年以上のおつき合いの人がたくさんいらっしゃるんで、何か変なこと言ったら笑ってやってください。よろしく申し上げます。

○田中議長　それでは、部会の方の進め方の確認をさせていただきます。この部会は教育環境と子育て支援の充実に向けて、皆様方が意見や提案を述べる会議ということになっております。前半40分の勉強会は区役所の各課長さんから課題の説明と重要な意見交換の時間です。勉強会の間は議事の記録はいたしませんので、各課題についてももう少し詳しく説明を聞きたいという場合や、もっとこうこうすればよくなるので

はいう前向きな意見を、どしどし出していただきたいと思います。

○事務局 皆様、失礼します。各部会において、議長、副議長の選出がされましたようですので、私の方から紹介させていただきますので、ご起立の方をお願いします。

まず、にぎわい・きずな部会ですが、部会議長は藤溪委員、部会副議長は中谷委員でございます。

ありがとうございます。

次は、子ども・教育部会ですが部会議長は田中委員、部会副議長は板垣委員でございます。

最後に保健福祉部会ですが、部会議長は石塚委員、部会副議長は林委員でございます。

皆様方どうぞ、2年間よろしく願いいたします。

では、引き続き以降の進行につきまして、議長、副議長の皆様どうぞよろしく願いいたします。

○田中議長 すみません、途中で。それでは自由な意見交換をしていただきたいと思います。また最後の20分で部会の意見集約をいたします。

ただいまより勉強会を始めます。それでは課長の方をお願いしてよろしいでしょうか。

<区役所各課長からの資料1に基づく説明>

<部会での自由な意見交換>

○事務局 それではただいまをもちまして勉強会を終了し、各部会の意見集約に移っていきたいと思います。これから議事の記録を再開いたしますので、部会議長の皆様、進行についてよろしく願いいたします。

○田中議長 最終的には、スポーツだけじゃなしに文化系の行事もしていくという

ことで、よろしゅうございますか。

○茶谷委員　　そうですね。

○田中議長　　子育てですが。

○福永委員　　携わらせていただいているので、現在進行していることで、そちらの部分はあるんですよ。先ほどの読み聞かせのことなんだけど、子育て支援センターの方で、お母さん方に来てもらった時に絵本を読んだりされて、その時に子どもさんにはこういうふうにしてあげた方がいいよとか、それとか子育てサークルの方でこういう形のことをさせてもらって、絵本を読んでもらえた子にお子さんたちとコミュニケーションをこういうふうにとってくださいねとか、子どもさんと触れ合う機会とかいかにもそういう形の指導ではないですけど、お母さんに子どもとのコミュニケーションの取り方はこうやでっていうことを伝えたりすることはさせてもらってまして。先ほどおっしゃっていただいたみたいに現在進行形で動いていることはたくさんありまして、私もそちらの方でお話をさせてもらってるので、どこまで、うち要件というのはいろいろ考えさせてもらってる立場でもあるので、逆に言っていただいたのはこっちで消化して、またいろいろと議論させてもらって子育ての方にもこういうイベントとかいろんなことにさせてもらおう。

○末光委員　　基本的なことがわからないですけど、これが素案やから変えてもいいんですか。それとも、これをやるんですか。基本的なことが全くわかってない。去年、前もそうなんですけど、みんなお金が決まっていますってこれやりますって言われて、「あ、そうですか」って来てて、何を話したらええのかようわからへんみたいなのがもう毎年そうなんですよね。予算ももう決まってるし、何したいからお金が欲しいと言っても結局もう決まっているから、これするしかないものだったら何をしに来ているのかようわからへん。

○井上代理　　私が「みんなdeスポーツ教室」の事業を説明したように、2年前にこういう会議の場でご意見が出たんです。それを活かしてようやく事業化できたのが、

今年の事業で、このものを一字一字変えてくださいとかを問うているのではないです。これを肯定していただいてもよろしいですし、これに付随するような意見を言うていただいてもかまいません。区としてはいろんなことにご意見を聞かせていただいて、実現できるものできないものあるんですけども、実現できるものについては活かしていきたいなと思っておりますので、これを變えたいとかそういうことを問うているのではないので、これに関連したもので話していただいたら。

○末光委員 話をするだけでいいんでしょう。

○井上代理 こうあるべきだというものがあるんでしたら、それが事業に実現することもありますし。

○末光委員 意見を言うだけで、それを実現するのは役所の方という感じですか。

○井上代理 具体的にこんなことがしたいということがあれば、それは実際に実現しやすいものですけども、そういう思いではないんで、こうあったらいいんで、一つの方向性だと思うんですけども、この場というのは。そういう事から聞かせてください。

○末光委員 そういう会議なんですか。

○田中議長 そういう会議です。

○板垣副議長 私たちは思いを語ればいいですよ。

○田中議長 ですから、さっきのフリーな時間にいろいろ言うていただいたら、ここで要望というか意見として。

○永門委員 最初にこれ見たから中身がわからへん。それを掘り下げていく、それを参考にしてまたこういうのを作りましょうということや。

○末光委員 勉強会やからずっと聞くだけなんかなと思ってた。ここ勉強会ってありますやん。だから聞いてたんですよ。

○田中議長 すみません。最初の説明が悪かったですね。勉強していただいて意見を言うていただく。何か疑問に思ったりしたことを言うていただく。すみません。良

好きな教育環境づくりの1番に、宝栄さんのこれをあげるか、企業とか大学の協力いうか社会貢献をやるというのは、どちらを。両方やらせてもらっていいですかね。

○事務局 8時40分には全体会議に戻りたいと思いますので、あと15分程度で報告内容を整理してください。よろしくお願いします。

○田中議長 3つ目は、文化的な事業。将棋だけにこだわらず何か文化的な文化系の事業をしていただきたいということで3つ、これでよろしゅうございますか。

○永門委員 文化的な。

○田中議長 文化系やね。スポーツだけやなしに、文化系もしましょう。ただ、東成は文化祭というのは2月の第1日曜日でしたか、あるのはあるんです。でも、これはほんとにいろんな人が来はりますので、子どももキッズで踊ったりはしてますけれども。では、文化系も取り組んでいくということで。

あと、下の方なんですけど、子育て支援する環境づくりということなんですけれども、今もされているみたいなんですけど、本の読み聞かせや親子との対話とか、子育てサークル。

○永門委員 でも、これまとめようがないよな。

○大野代理 そうしたら、区としても子育て家庭に必要な情報を何とか幅広く伝えたいという思いがあります。先ほどもご説明させていただいたんですけれども、広報紙でありますとかメールマガジンでありますとか発信させていただいてるんですけれども、それでもなかなか届かない事情がありまして、そこでちょっとご意見いただけるのであればどういう方法を駆使したら、そういう届かない層にまでこちらの思いといますか、必要な情報を届けられるかといういいアイデアがございましたら、この場で頂戴できれば非常にありがたいというふうに思っております。

○山口委員 各地域の福祉サポーターがいますんで、いろいろな様々なお年寄りから子どもを対象にした行事がなされておりますので、そういうふうなところの方がメールマガジンであるとか、フェイスブックなんかよりは身近だと思うんですよ。現場

へできたら広報もやっていただくという方がいいと思います。

○田中議長　それ、何のサポーターですか。

○山口委員　地域に福祉サポーターというのがいますんで。

○永門委員　各校下にありますから、そこの方が地域の主任児童委員さんおられるし、ということは、幼稚園までの子のことも把握されてるんですよ。そういうときに、配るんであれば区政だよりは各戸全戸配布やね。それと一緒に地域の方がいるんだからその方をお願いして全戸配布。だから年寄りにそういうのは要らない。そこは先ほどの社協の、そういう対象のところにはチームのサポートを使って対応すればそんなに金もかからない。そりゃそうですやん。方法としては一番地元でそういう方がいるんだから、それを活用すればいいかな。

○池田委員　看板を出したり、区役所のホームページを見て、北中道はサポーターのところは電話がかかってくるように、会館に電話がかかってくるようになっているので、割とホームページを見ていろんな問合せはあります。

○山口委員　意外とにぎわっていますね。

○板垣副議長　うち東中本で、まちづくり活動協議会で広報部というのを立ち上げたんですよ。今年10月の末にうちは必ず6,000部用意するんですよ。その代わり薄っぺらいものなんですけれど、結構皆さんに読みやすいし、いいっていう声をいただいているので、地域の広報部があったらそこと提携して、区役所の欄を設けてもらったらどうですか。6,000部も配ってるんですよ、東中本で、もったいない。なんかそこちよっともらったらいいんですよ、区役所からの一言とか、区役所コーナーとかね。

○永門委員　お金を少しもらったらいいいねん。

○板垣副議長　もらったらいいいね、私らも。

○事務局　ただいま8時30分ですけど、8時40分には全体会議に戻ってまいりますので、あと10分程度でまとめてください。よろしくお願いします。

○板垣副議長　カメラも買われへんぐらいだから。地域のことを行政が知られて、

ここの地域は広報部がすごいとか、ここは今言った地域福祉活動サポーターがすごいだとか、そこと上手にコラボしはったらいいんですよ、区役所が。

○大野代理　チラシだけで50万ですか。

○末光委員　50万でどれだけの活動ができるんですか。ホームページに出したりとか、チラシ作るにしても50万ってあつという間になくなるんですよ。

○大野代理　50万という予算自体が印刷物だけの予算ではなくて、例えばこういうふうなチラシ関係で予算内の中でどれだけ作れるかっていうのはわからないですけど。

○末光委員　カラーやと高いやろし。

○板垣副議長　東中本、10月末に出したやつ。このページ6,000部で2万いくら。自分たちで校正から写真から全部するんでプロの力いただかないから、だから絶対地域の人ともっとコラボしたらいいんですよ。区役所は。

○永門委員　11校下やっても30万。

○板垣副議長　6,000部、2万7,000円ぐらい。ほんとかんなん。うちに来てくれたら区役所コーナー差し上げますよ。

○田中議長　とりあえず2つ目の地域社会全体で子育て家庭を支援する環境づくりということなんで、地域福祉活動サポーターをもっと活用すると。今もしていただいているとは思いますが、そういうサポーターがおられることをわからない、知らない人も中にはいてはるかなと。これは公民館とかに貼ってるやつですかね。サポーターの部屋とかじゃないんですか。これは例えば、主任児童委員がやっているとか。

○大野代理　地域福祉活動サポーターさんの事務所的なところがありますので、それは公民館でありますとか憩いの家でありますとか、そういう施設になっています。

○池田委員　保健所の3歳児健診とか6カ月健診とかがあるでしょう。そこで各校下でこちらでサークルしてますよっていうのを見て来られたり、連絡があったりしますね。問合せはあの会館の方にあります。

○大野代理 各校下の方は地域福祉活動サポーターさんがどちらにいらっしゃるかというのは、ご存じですよ。

○池田委員 皆さん方は知ってはるけれども、子育て世代の人は知らない。

○福永委員 子育て世代の方には難しいですね。ただ、会館で子育てのサークルをやっているのはしてまして、問合せはそこに電話してくださいって言ったらそこにおられる方が電話出てくれて、そこらへんは。

○末光委員 そこです。そこが一番最初大事なんじゃないですか。

○池田委員 だから割と健診の時にそういうのを会館で子育てサークルがあってというのは、健診のときの情報で電話がかかってきたりはしますけれど。

○末光委員 病院とか小児科とかあんなところに置いといてもらって、ポスターでも。お母さんがそんなところ行く時にパッと目につくようなところに網のように貼つかへんかったら、私もそんなんあるって知りませんでした。

○板垣副議長 寝かしたり立てたりしたらだめ。やっぱり広げなあかん。

○永門委員 病院には保険証変わりましたとか期間切れますとかよう貼ってるやん、あの横に貼っていたらええやん。

○板垣副議長 親がどうしてもそこを見るとか見るところに貼っておかなあきませんね。

○永門委員 だから産婦人科とか小児科やったら必ず見る。インフルエンザとかで来る。そういうところに貼らしてもらえるように区内の病院とこに協力願えば周知のことは最大限そこみんな行くんやから。

○板垣副議長 だから、地域住民も各種団体が何しているかわからへんときが多いんですよ。

○事務局 皆様、ただいま8時35分になりましたので、あと5分で部会を終了いたします。

○田中議長 大丈夫ですよ。あと5分ありますから。

○池田委員 東成区すくすくつながるクラブで生まれたお子さんに持って行ってるでしょ。そのときに「サークルしてますから」っていうのは、紹介はしていますよね。

○福永委員 紹介はしてます。各校下の主任児童委員がカードを持って行ったときにやってるサークルの案内と開催日と、あとわからない場合はマークつけたりしてお届けして、イベント行くときありますよ。各校下でルールは一律でっていう形で決めてないんですね。やってる団体さんが違ったりもしますので、そこのカラーに合ったような形で出されてますので、全部回られている方もおられますし、自分の地域やかからということで地域だけを回られている方もおられます。

お母さん方で、今やったらラインとかで、この間もクリスマス会とかやったときにはいままで来てなかった方で聞いたから来ましたって方もおりますので。お母さん方で連絡取り合ってくださいたり、お母さん方のつながりの方が私たちが言うよりも情報は早いのかなと思います。

○板垣副議長 参加者のコミュニティが必要ですよね。主催者じゃなくて。

○田中議長 広報紙なんかは、こういうのを病院とかに置かしてもらうような感じでアピール、広報していくというのがいいんじゃないですか。あとは1回来られるとまた行こかという気になる、その中のコミュニケーションが必要かなとは思いますが。

○末光委員 カードとかされているじゃないですか。クリスマス会とか延べ人数とか、今全体で東成でどれくらいの世帯があって、どれくらいの人 coming しているのかわかりますか。

○福永委員 世帯まではわかりませんが、サークルによって人数把握しているサークルもあればしてないところもあるので、うちなんかそのときの天気と人数と、それを全部その日のうちにブログに上げるという形はしている。ブログをあげているところ、北中道さんあげたりされてます。そこは校下によってその環境が整ってないということがあるので、あげれてないところもありますけども、そこのフォローを今フェイスブックの方で地域関係なしに開催しますよというお知らせはしてくれている

感じです。

○末光委員 一生懸命やってもどこまで普及しているかが実感できないと、やりがいとか成果に結びつかないかなと思うので。何か定量的でも、何回ぐらい今社協があって、どれくらいの人に参加しているとかいうのがわかればもっとアクションプランにつながるんじゃないかと思うんですけど。

○福永委員 その辺の把握も踏まえて「大集合」みたいな形で、年に1回させてもらった所でお母さん方に来ていただくのもいいんですけど、やってる方の立場の人も自分のとこの校下外の事業と違うところを見ていただいて刺激を受けてもらって、次自分たちの校下へ持ち帰って、じゃあどういうことをしようかということを考えてもらったりしてますけど。

今ほんとカード、大分普及はしてきているんですけども、実際にそのカードを持ってきてくださる方ってのは少なく、この前も「あ、カード忘れた。どこに置いてるやろか」ということもあったので。

○末光委員 それこそラインスタンプみたいな、「はい、これ」みたいなできるようにならないんですか。

○福永委員 アプリとかできるのが一番いいのかなと思ってんですけど。アプリになると予算が結構。そこがちょっと今しんどいかなと思っている。

○山口委員 宝栄では地域福祉活動サポーターの日誌っていうとおかしいですけども、やってることを全てフェイスブック使ってやってるんです。だから、そういうところへこういうふうなアドレスなんかは自由に載せていいんですね。

○池田委員 イベントを。

○山口委員 イベントじゃなしに、こういうところに載ってる、例えばQRコードとか、ああいうのですね。

○事務局 では、時間となりましたのでこれもちまして部会を終了いたします。

<全体会議議事録P10に続く>